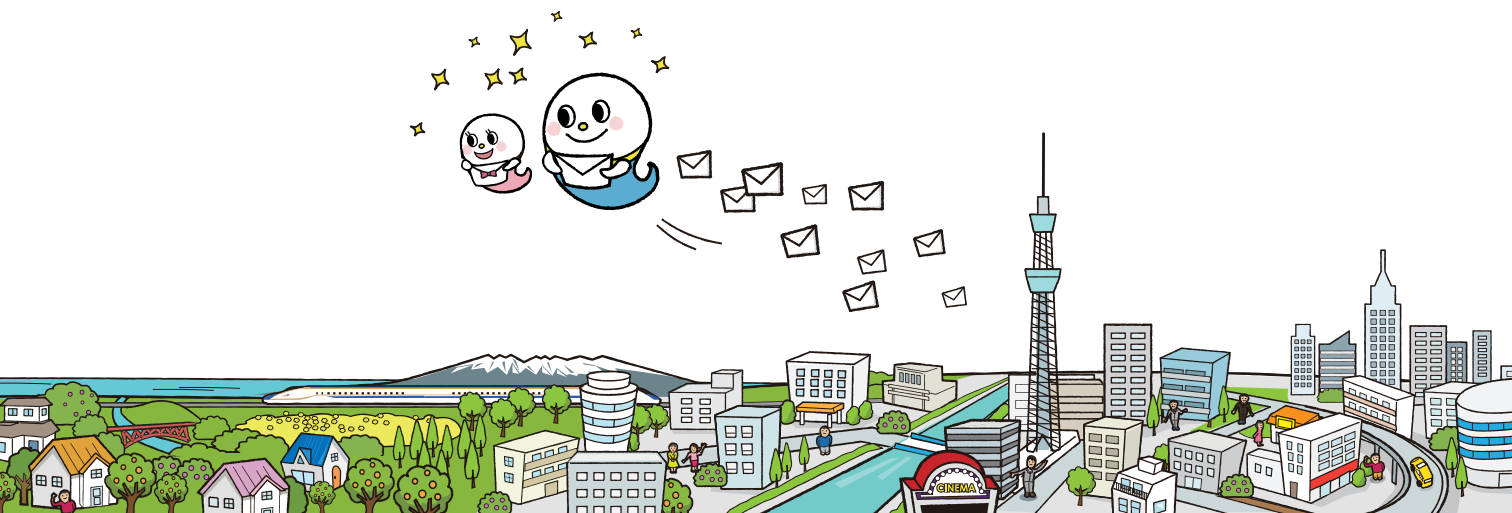




株式会社エイジア

第20期 株主通信

2014年4月1日～2015年3月31日



■ 株主の皆様へ



株式会社エイジア 代表取締役

美濃和男

(※1) **クラウドサービス**：インターネット経由でソフトウェアをサービスとして利用する形式。ユーザー企業はソフトウェアが稼働するIT環境の管理や、ライセンス等高額な初期投資等の負担なく、毎月の利用料を支払うことで安価に利用できる。

(※2) **サービスソリューション事業**：マーケティングコンサルティング、メールコンテンツ提供サービス、受託開発案件及びその保守業務、デザイン、eコマースサイト構築業務等を中心とした事業。

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2015年3月期は、消費税増税に伴い企業の設備投資が伸び悩み、当社においては厳しい状況が続きました。しかし、重点施策として掲げておりました「クラウドサービス^(※1)の強化」、「新製品・サービス開発の推進」、「サービスソリューション事業^(※2)の拡大」を着実に進めることができ、連結売上高は前期比で2.4%の増収となりました。

その一方で、「新製品・サービス開発の推進」による投資コストの影響で労務費等が増加し、経常利益および当期純利益は減少いたしました。しかし、中長期的な競争力強化のためには必要な先行投資であると捉えており、今後はこれらの先行投資を成果に結びつけ、収益の拡大を目指してまいります。

当社の主力製品であるメールマーケティングシステム「WEBCAS」シリーズは、顧客満足度の向上や売上アップにつながるツールとして多くの企業に活用されてきました。今後は、これらの販売促進を引き続き強化することで収益基盤を固めつつ、新製品開発に注力してまいりたいと考えております。

また、2013年10月にメール・Webコンテンツ企画制作事業を営む株式会社FUCAを子会社化いたしました。2014年10月には、メールマガジンの企画制作とメール配信システムを組み合わせた大型案件の受注に成功し、連結によるシナジー効果を発揮することができました。今後もFUCAとの連携をより一層強めることで、グループ全体の収益拡大を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

■ エイジアの主な製品紹介

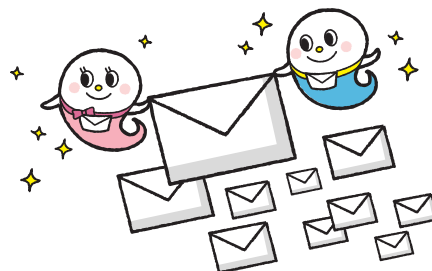
当社主力製品である「WEBCAS(ウェブキャス)」シリーズは、企業がインターネットやメールを介して顧客とつながることで、効率的・効果的なマーケティング活動(販売促進・顧客育成など)を行うためのシステムです。

「WEBCAS」シリーズは、EC(通販)運営企業、メーカー、生命保険、金融機関、官公庁など大手企業を中心に2,500社以上に導入いただいております。

メール配信パッケージ市場 シェアNo.1^{※1}

総合通販
売上高
ランキング

上位5社中、4社が
WEBCASを導入しています。^{※2}



メール配信システム **WEBCAS®** e-mail

業界最高レベルの、毎時300万通以上の高速配信が可能なメール配信システムです。大量一斉配信はもちろん、お客様ごとに最適化されたメールを生成・配信することもできます。

※1 ソースポッド発行「国内メール配信市場レポート2012」による ※2 2014年7月通販新聞発表「第62回通販・通教売上高ランキング」による

アンケートシステム **WEBCAS®** formulator

インターネット上でのアンケートや問い合わせ窓口を、誰でも簡単に作成できるシステムです。

メール共有システム **WEBCAS®** mailcenter

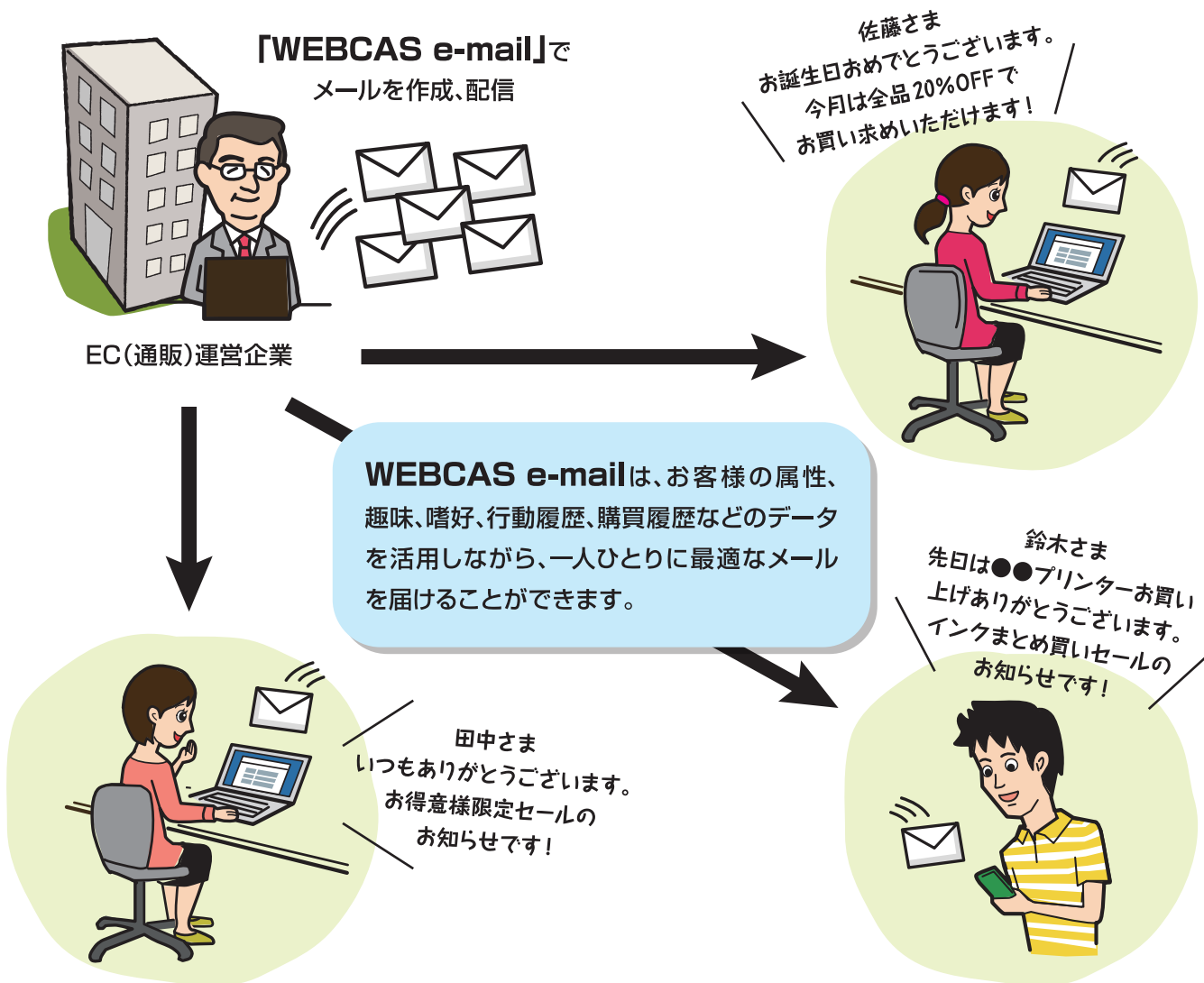
企業の窓口が届くメールを複数人で一元管理し、二重対応や対応漏れを防ぐシステムです。

通知メール販促システム **WEBCAS®** marketing receipt

企業の業務システムから送信される自動通知メールにオススメ情報などを付加できる販売促進システムです。

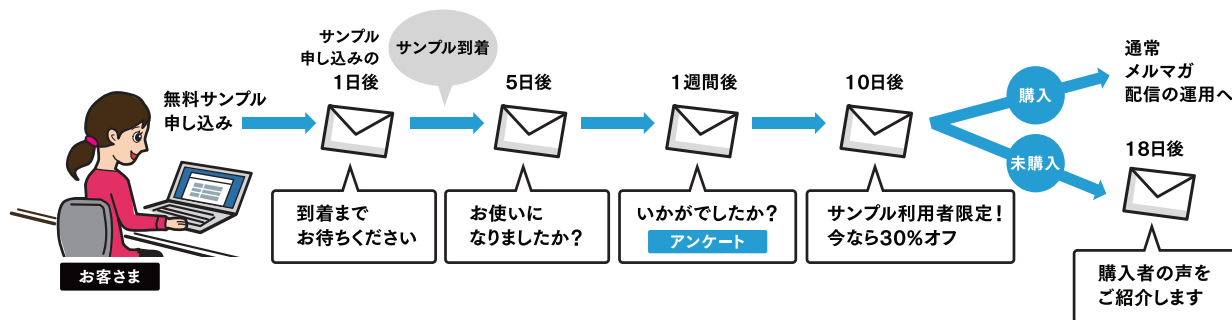
■「WEBCAS e-mail」は、たとえばこんな風に使われています

当社のメール配信システム「WEBCAS e-mail」は、メールを使ったコミュニケーションを実現することで、企業と顧客を結び付けるお手伝いをしています。



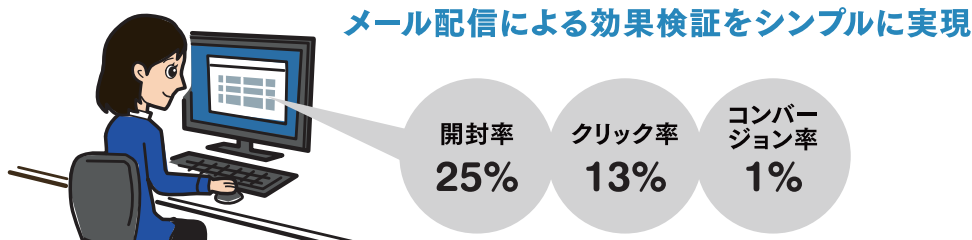
化粧品無料サンプルを請求されたお客様に、メールで自動連絡を行う

お客様がサンプルを請求した後、たとえば5日後には「お使いになりましたか?」1週間後には「いかがでしたか?」など、実際に人が連絡をしているかのようにメールで手厚いフォローを自動で行う仕組みです。これにより「気にかけてもらっている」という安心感をお客様に与え、購買促進や満足度向上を図ることができます。



配信したメールの効果分析をする

WEBCAS e-mailは、配信したメールが読んでもらえたか(=開封率)、何人Webサイトに来てくれたか(=クリック率)、商品を買ってくれた人は何人いたか(=コンバージョン率)などを確認できます。メールを配信した企業は「どのメールがどの程度の売上をあげたのか」を把握できるので、具体的な成果目標を立てることが可能です。



■ エイジアの事業Q&A



Q. 「 WEBCAS 」の強みはなんですか？

A. クライアント企業様のご要望や環境に合わせ、柔軟にシステム構築できる点です。近年販売を強化している「WEBCAS」クラウドサービスは、他社では対応しづらい**カスタマイズに柔軟に対応できる**ため、他社クラウドサービスからの乗り換えも多数ございます。

また、サイト内行動履歴に応じてオススメ情報を提供する「レコメンドエンジン」やアクセス解析システム等、各種システムとも連携可能で、効果的なマーケティング活動基盤として活用いただいております。



Q. 競合他社にはない、エイジア独自の技術はありますか？

A. はい。企業が既に保有している**複数データベースと直接つながり**、リアルタイムにデータを参照してメールを配信できるのは当社独自の技術です。企業は既存のデータベースを有効活用できるので、新規データベース構築にかかるコスト・リソースを大幅に削減することができます。



■ エイジアの取り組みQ&A



Q.

2015年3月期は「クラウドサービスの強化」、「新製品・サービス開発の推進」「サービスソリューション事業の拡大」を目標として掲げていましたが、振り返っていかがでしたか？

A.

クラウドサービスの売上は前年度比**+10.5%**となりました。
新製品開発につきましては、2014年5月にデータベース作成システム「WEBCAS DB creator」を発売、2014年12月にはスマートフォン送り分けに対応したメール配信システムの新バージョン「WEBCAS e-mail ver.6」を発売いたしました。また、SMS配信システム「WEBCAS SMS」を2015年5月に発売することを決定し、開発に取り組んでまいりました。
サービスソリューション事業の売上は、前年度比**+48.7%**となりました。子会社FUCAと連携しトータル提案を行った結果、2014年10月に大型案件の受注に成功しています。



Q.

2016年3月期はどのような取り組みをしますか？

A.

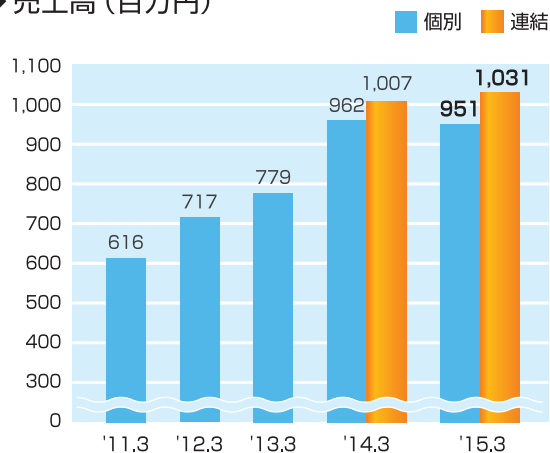
引き続きクラウドサービス、特に競争力のあるSaaS型^(※)の拡大販売を推進いたします。
また、昨今では「顧客の詳細な行動データ分析に基づいたメールマーケティングを行いたい」というクライアント企業からの要望が高まっていることから、それらの要望に応えるべく、高度なメールマーケティングを実現するための新製品開発に注力してまいります。



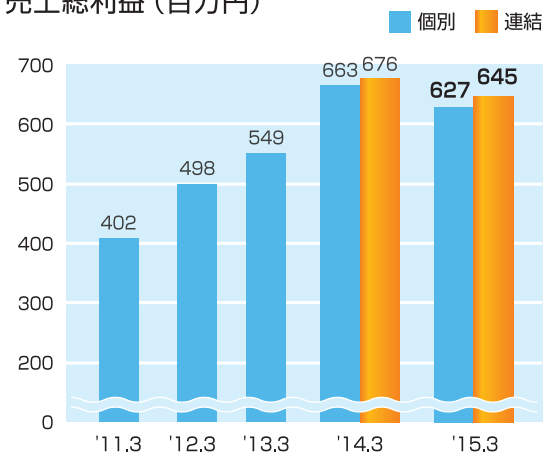
(※) **SaaS型**: 当社クラウドサービスの中でも、クライアント企業の要望に応じて、カスタマイズや他システムとの連携を可能とする、柔軟性に富んだ提供方式。

■ 財務ハイライト

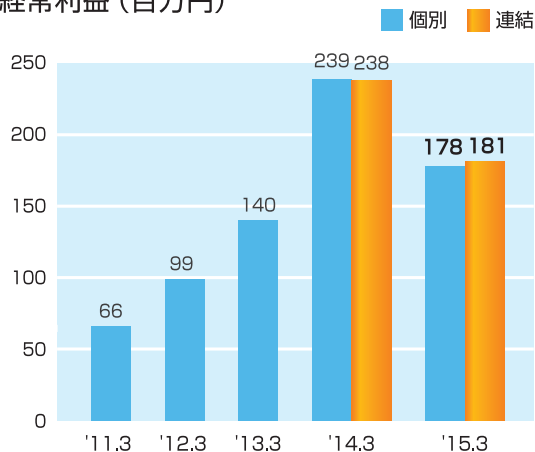
◆ 売上高 (百万円)



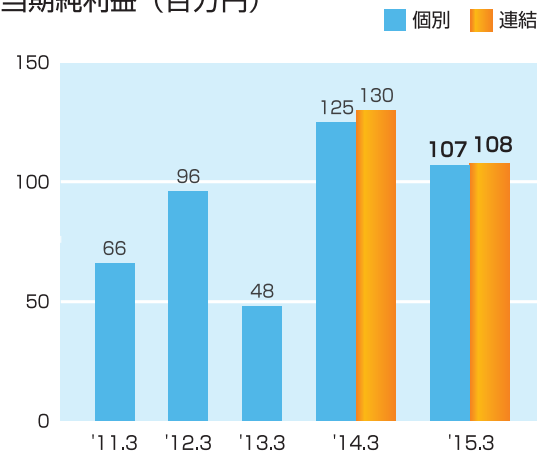
◆ 売上総利益 (百万円)



◆ 経常利益 (百万円)



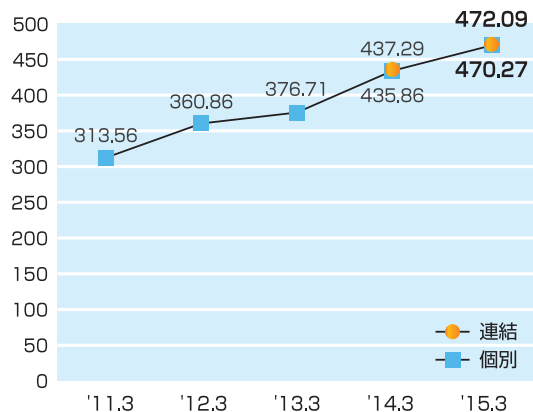
◆ 当期純利益 (百万円)



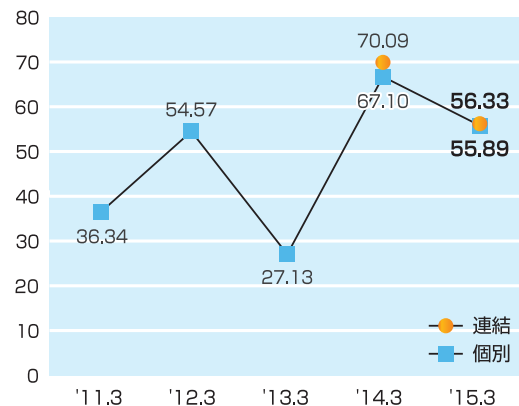
※当社は、2014年3月期より連結財務諸表を作成しております。

■ 財務ハイライト

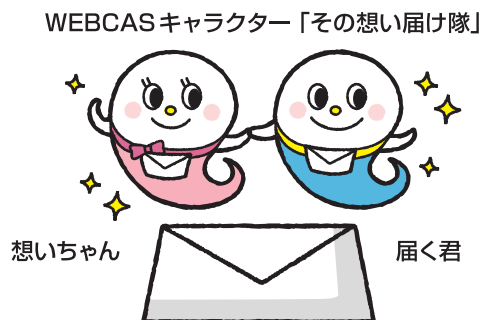
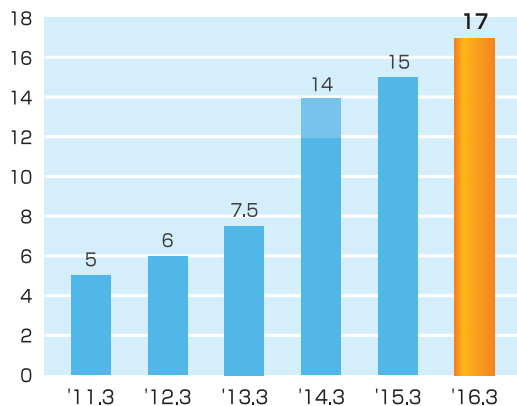
◆ 1株当たり純資産額 (円)



◆ 1株当たり当期純利益 (円)



◆ 1株当たりの配当実績 (円) と配当予想 (円)



※当社は、2014年3月期より連結財務諸表を作成しております。

※2012年3月期中に1株を200株に分割いたしました。1株当たり情報は、株式分割を反映し、遡及修正して表示してあります。

※2015年3月期までは実績。2016年3月期は予想。

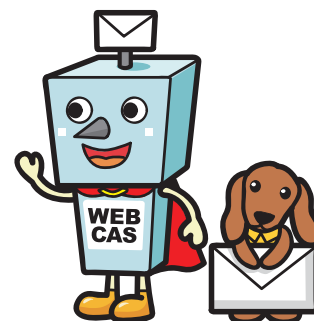
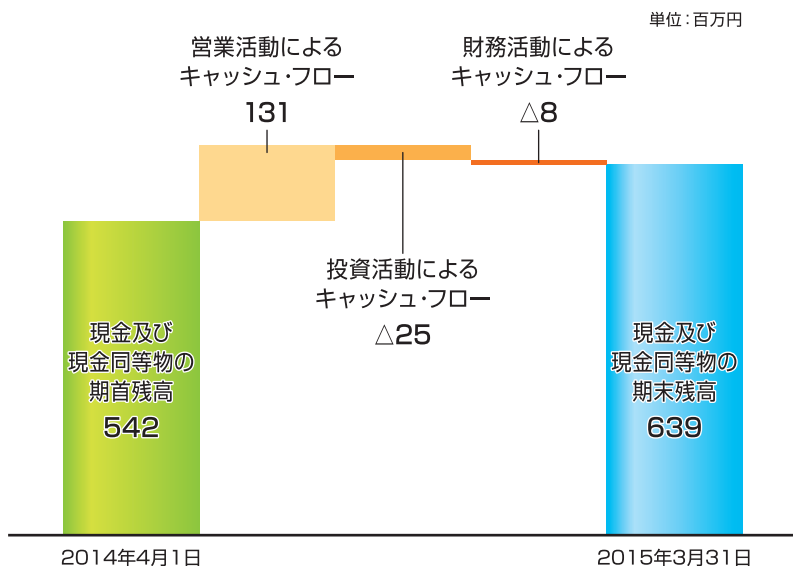
■ 財務諸表

◆ 貸借対照表

〈連結〉			単位：百万円	
期別 科目	19期 (2014年3月31日現在)	20期(当期) (2015年3月31日現在)		
現金及び預金	742	839		
有利子負債	—	—		
純資産	871	963		
総資産	1,052	1,169		

〈個別〉			単位：百万円	
期別 科目	19期 (2014年3月31日現在)	20期(当期) (2015年3月31日現在)		
現金及び預金	707	812		
有利子負債	—	—		
純資産	862	953		
総資産	1,030	1,146		

◆ 連結キャッシュ・フロー計算書



ウェブキャスボ

キャスリン

■ 会社概要 (2015年3月末現在)

社 名 株式会社エイジア
 役 員 代表取締役 美濃 和男
 専務取締役 中西 康治
 常務取締役 北村 秀一
 社外取締役 長山 裕一
 社外監査役 佐々木 俊夫
 監査役 上野 周雄
 社外監査役 藤本 眞吾

役職員数 88名(グループ会社含む)
 設立 1995年4月
 資本金 3億2,242万円
 証券番号 2352
 上場市場 東京証券取引所マザーズ
 所在地 〒141-0031
 東京都品川区西五反田七丁目21番1号
 第5TOCビル9階
 連絡先 TEL: 03-6672-6788
 FAX: 03-6672-6805
 e-mail azia_ir@azia.jp

■ 株式の状況 (2015年3月末現在)

発行可能株式総数 普通株式 9,252,000株
 発行済株式の総数 普通株式 2,326,200株
 (自己株式370,400株を含む)
 株 主 数 2,551名

■ 大株主

株 主 名	持株数(株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	141,200	7.21
日本証券金融株式会社	76,000	3.88
美濃 和男	62,900	3.21
西田 徹	59,200	3.02
株式会社SBI証券	58,100	2.97
田中 幸夫	56,800	2.90
北村 秀一	50,300	2.57
大重 知弘	50,000	2.55
柿沼 佑一	50,000	2.55
株式会社システムインテグレータ	32,800	1.67

(注) 1. 当社は、自己株式を370,400株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
 2. 持株比率は自己株式(370,400株)を控除して計算しております。

決算説明会動画のご紹介

株主の皆さま向けに、決算説明会の動画を公開しています。ぜひご覧ください。

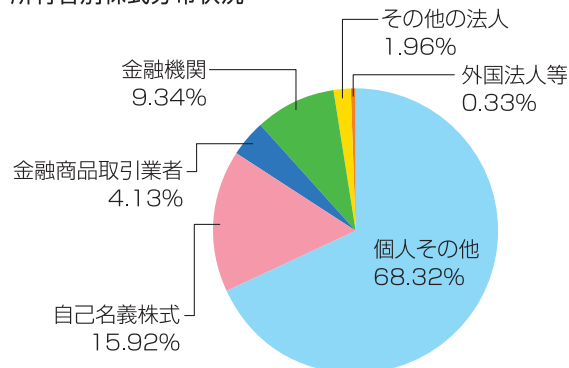


※動作推奨環境

[OS] Windows Vista、Windows 7
 [ブラウザ] Internet Explorer7、8、9、10

<http://www.azia.jp/ir/video>

◆ 所有者別株式分布状況



■ 株主メモ

証券番号 2352
事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 毎年3月31日
公告方法 電子公告の方法により、当社ホームページアドレス(<http://www.azia.jp/>)に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 0120-232-711(フリーダイヤル)

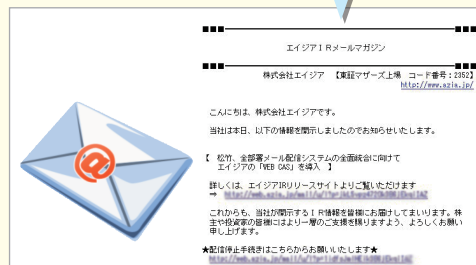
株式に関する各種のお手続きについて

1. 各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

こちらのメールも、
当社メール配信システム
「WEBCAS e-mail」で
配信しています

IR メールマガジンにぜひご登録ください

エイジアIRニュースをタイムリーにお届けする、IRメールマガジンにぜひご登録ください。メールマガジンでは、エイジアの決算情報やIR動画配信、各種リリース、導入事例の公開等を、皆様にスピーディにお知らせいたします。ご登録はIRサイトにて受け付けております。
(※パソコン用メールアドレスのみ登録可能です)



エイジアIRサイト <http://www.azia.jp/ir/>